

令和 7 年度

「運営に関する計画」

中間評価

大阪市立日東幼稚園

令和 7 年 10 月

大阪市立日東幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

子どもの安全・安心を最優先に考えながら、新しい生活様式を取り入れた園運営を行うことが重要である。日東幼稚園の特色を生かした教育内容を充実させていく。

○安全・防災教育は、命を守る大切な教育である。前回でも、安全・防災教育に力は入れてきたが、更に積み上げていくことで、課題が明確になり、子どもも教師も保護者も安全意識が高まっていく。今回は、特に、災害安全や交通安全に重点を置き、子どもが自分で自分の身を守ろうとできるような意識を育みたい。そのためには、これまで以上に様々な想定を行い、教師自身がその場にふさわしい行動を様々に考えて子どもたちに指導できるように指導内容を工夫する。また、家庭に分かりやすく発信し、日頃の生活自体を大事にしながら、連携して身に付けていくように、工夫していきたい。

○一人ひとりの子どもを大切にした教育を行うためには、幼児理解が重要である。園内委員会を充実させるとともに、外部の関係機関と連携し、視野を広げ、園内で共通理解しながら一人ひとりに合わせた支援につなげていきたい。そして、違いを認め合い、一人ひとりの良さが發揮できるような、指導力の向上を目指したい。

○日東幼稚園の特色として、様々な国にルーツをもつ子どもたちが一緒に生活する日常がある。そのよさを生かし、生活や遊び、伝統行事を通して、日本や様々な国と地域の文化に興味や関心がもてるよう指導を工夫していきたい。お互いのよさや違いを認め合い、大切に思い、育ち合える子どもを育みたい。

○幼児期は、体験を通して、心や体を動かして学んでいく。感染対策を行いながらも、幼稚園でしかできない体験を重視し、子どもの実態に合わせ、子どもが主体的に遊び、様々な体験ができるように、環境や指導内容を工夫していきたい。また、分かりやすく保護者や地域に発信し、幼稚園教育の理解を深めたい。

○基本的な生活習慣が入園前に身に付いていない子どもが多く、幼稚園教育の果たす役割は大きい。機会を捉えて保健指導を行うとともに、個別に丁寧に関わりながら、身に付けていきたい。また、個々の実態に合わせて、保護者と連携し、身に付けていくように指導の工夫を行っていきたい。

○コロナ禍の間、家庭では室内で過ごすことが多くなり、運動遊びでできることが限られるようになった。そのため、子どもの体力が低下傾向にあることが課題である。感染予防対策に留意しながらも、子どもたちが、遊びを通して楽しんで体を動かすことができるよう教材研究を行い、環境や活動内容を工夫して、体を動かす活動に取り組み、しなやかな体つくりにつなげていきたい。

○これまでも、日頃から園内での異年齢交流を大切にしてきたことから、思いやりや憧れの気持ちが育っている。小・中学生との交流や地域の方との関りを通して、心のつながりを大切にしてきた。これからも、園内だけでなく地域の方々と連携しながら、時期を逃さずできることを考え、積み重ねていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、交通安全指導・避難訓練などを通して、自分の身を守れるように保育を行っていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を60%以上にする。
- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。
- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、日本やいろいろな国と地域の文化に興味や関心をもつようになっていますか」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、幼稚園でいろいろな遊びに興味をもち、楽しんで遊んでいますか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。
- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、入園前に比べて基本的な生活習慣が身に付いていますか」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。
- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、異年齢の友達や地域の人との関わりを通して、思いやりのある心を育むことができるよう取り組んでいますか」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ①今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、交通安全指導・避難訓練などを通して、自分の身を守れるように保育を行っていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を70%以上にする。
- ②今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。
- ③今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、日本やいろいろな国と地域の文化に興味や関心をもつようになっていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を60%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、幼稚園でいろいろな遊びに興味をもち、楽しんで遊んでいますか」の項目について、「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。
- ②今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、入園前に比べて、基本的な生活習慣が身に付いていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を55%以上にする。
- ③今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ①今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、異年齢の友達や地域の人との関わりを通して、思いやりのある心を育むことができるよう取り組んでいますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。
- ②今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、近隣の小中学校との交流活動を積極的に実施していますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>①今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、交通安全指導・避難訓練などを通して、自分の身を守れるように保育を行っていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を70%以上にする。</p> <p>②今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。</p> <p>③今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、日本やいろいろな国と地域の文化に興味や関心をもつようになっていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を60%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 安全教育を通して、子どもが安全に気を付けて過ごす意識をもてるような指導を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を毎月、全職員で行う。 ・様々な災害を想定して避難訓練や交通安全指導、防犯指導を年7回以上行う。 ・機会を捉えて、年7回以上保護者啓発を行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 自分のことを大切にし、相手のことを思いやる気持ちが育めるような指導の在り方を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援PC内「いいとこみつけ」を活用し、子どもの実態を共有する。 ・月1回以上園内委員会を行い、一人一人の子どもの実態や課題、支援の方向性などを共通理解する。 ・巡回相談などで個々に応じた指導方法や支援について学び、実践につなげる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 日本をはじめ、国や地域の文化にふれ、親しみや興味、関心をもつことができるような指導を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回以上、日本の伝統行事を知らせたり、伝統的な遊びを知らせたりする。 ・国や地域の文化について、学期に1回教材研究を行い、保育に生かし、ホームページなどで発信する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

- ① 今年度の本園の一学期の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、交通安全指導・避難訓練などを通して、自分の身を守れるように保育を行っていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は53%だった。
- ② 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、子ども一人一人を大切にした教育を心がけていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は49%だった。
- ③ 今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、日本やいろいろな国と地域の文化に興味や関心をもつようになっていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は55%だった。

【取組内容について】

- ① ・「警備及び防災の計画」「学校安全計画」に基づき、幼児の実態と発達段階を考慮して計画を立て、避難訓練や防犯指導等を実施した。実施できていない訓練については今後実施予定である。
<避難訓練（火災）2回、おもちゃや花火教室、防犯指導1回、避難訓練（地震・津波、心和中引き渡し訓練）1回>
 - ・避難訓練（火災）は2回実施した。事前に火災や避難の仕方、約束事（「お（押さない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）」）等について視覚物も用いながら幼児らに知らせることで、落ち着いて見通しをもって行動する姿につながった。5月は4、5歳児で実施し、3歳児は避難の様子を見る機会とし、6月は全学年で実施した。避難訓練の無い月も、防災頭巾をかぶったり、災害などについて話す機会をつくったりと、日々の中で指導した。
 - ・避難訓練（地震・津波、心和中引き渡し訓練）は9月に実施した。地震・津波を想定して心和中学校の3階に避難後、保護者への引き渡し訓練も合わせて実施した。保護者へのスムーズな引き渡しの方法を再確認し、保護者にとっても災害時の迎えの方法、園までの安全な経路の再確認をするきっかけになり、実際に災害が起こった時の想定ができた。

【取組内容について】

- ② ・校内支援PC内「いいとこみつけ」を活用し、子どもの様子、気付いたこと、支援方法などを共有した。家庭訪問や懇談の内容についても共有し子どもについて共通理解できるように努めた
・園内委員会について、年度当初、職員の入れ替わりや、担任が変わるなどがあったため、子どもの実態把握や共通理解を行った。
・巡回指導では指導の先生に子ども様子を見ていただき、具体的なアドバイスをいただき、指導方法や支援について学び、実践に繋げた。
・本園では、幼稚園特別支援教育の研究も行っており、特別支援委員会を実施し、教職員全体で子どもの実践記録の読み解りや実態把握に努めている。
・教職員全体で「一人ひとりを大切にした保育の在り方」について共通理解を深め、専門家の先生にもご助言をいただきながら、よりよい支援の在り方を探っている。

【取組内容について】

- ③ ・5月には「こどもの集い」、7月には「七夕の集い」、9月にはふれあい（敬老の日）の集いを実施し、子どもたちが楽しみながら日本の伝統行事や伝承遊びについて知る機会を設けた。
・各クラスでは日本の行事に親しみをもてるよう製作活動も行い、保護者には作品の展示や降園連絡、ホームページを通じて日本の伝統的な行事を知ってもらえるように努めた。
・日々の保育では、教員同士が情報共有しながら教材研究を行い、万国旗を見たり、他言語の音楽を流したり、手遊びや体操を取り入れたりするなど、日本の文化だけでなく、他国の文化や言葉にも触れ、全ての子どもが園での生活を楽しめるように努めた。
・毎月の誕生会では「おたんじょうびおめでとう」の文字を日本語と中国語の両方を掲示するなど、保育に生かしている。
・ホームページでは、保護者や地域の方々に幼稚園での取組や子どもたちの育ちを知ってもらえるよう、日々の保育の様子や行事の様子、地域の行事に参加する様子など、できるだけ早く掲載するよう努めた。

次学期への改善点

それぞれの項目において、数値的に達成することは難しかった。「そう思う」と肯定的な回答をする保護者の割合を「大変そう思う」との回答する保護者を増やしていくために、実際行っていることを発信不足であると感じる。以降はより幼稚園教育を発信方法を改善しながら、理解してもらう必要がある。

- ① • 避難訓練の様子や、防災・防犯・安全指導の内容について、保護者への周知が不十分である。
今後は実施後にホームページを更新し、保護者への発信を積極的に行っていく。
- ② • 幼児一人ひとりの実態把握に努め、よりよい支援に繋がるように教職員間の連携を更に深めていきたい。
- ③ • 中国籍の子どもが多く在籍しているが、ベトナムにルーツをもつ子どもも増えてきているため、中国語だけでなく、ベトナム語なども取り入れていく。
• 行事だけでなく、日々の保育での取り組み内容や子どもの育ちを多くの保護者に知っていたため、担任が週1回クラスの様子を掲載する。
• ホームページの更新を保護者に向けて口頭でも伝える。
• 保護者の方がホームページを容易に閲覧できるようにホームページのQRコードを毎月の園だよりに載せる。

大阪市立日東幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>①今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、幼稚園で、いろいろな遊びに興味をもち、楽しんで遊んでいますか」の項目について、「大変そう思う」と回答する保護者の割合を 65% 以上にする。</p> <p>②今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、入園前に比べて基本的な生活習慣が身に付いていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を 55%以上にする。</p> <p>③今年度の本園の保護者アンケート調査で、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を 70%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>子どもの興味や関心、発達を捉え、遊びを通して楽しみながら様々な体験ができる教育内容を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領や就学前教育カリキュラムを活用し、見通しをもった保育を工夫する。 ・実践記録を年3回以上検討し、幼児理解に努め、指導に生かす。 ・月に3回以上、子どもの育ちについて、保護者や地域に発信する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>基本的生活習慣が身に付くよう指導の工夫をし、家庭との連携を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に合わせて、毎月1回、保健指導を実施する。 ・「保健だより」を中心に月1回以上、家庭への啓発を図る。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>進んで体を動かして遊ぶことを楽しめるよう、実態に合わせて環境や活動内容を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上、楽しんで体を動かすことができるような環境や活動内容を工夫する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

- ①今年度の本園の1学期の保護者アンケート調査で、「お子様は、幼稚園で、いろいろな遊びに興味をもち、楽しんで遊んでいますか」の項目について、「大変そう思う」と回答する保護者の割合は65%だった。
- ②今年度の本園の1学期の保護者アンケート調査で、「お子様は、入園前に比べて基本的な生活習慣が身に付いていますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は53%だった。
- ③今年度の本園の一学期の保護者アンケート調査で、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は67%だった。

【取組内容について】

- ①・幼稚園教育要領や就学前教育カリキュラムを活用し、週案や日案を立てた。毎週、週案打合せを担任間で実施する際は、それらを活用しながら幼児の実態や遊びの流れについて共通理解し、保育計画や環境準備などを行った。
 - ・5月、7月、10月に3ブロック研究部研究主題「遊びの中の育ちと小学校教育とのつながりを考える～幼児が夢中になって遊ぶ姿から～」に基づいた実践記録を作成・検討した。幼児が夢中になって遊ぶ姿やその中の育ち、小学校教育とのつながり等について、教員間で意見を出し合いながら検討した。一つの記録について教員一人一人が考えたことや意見を述べて共有することで幼児の姿を多面的にとらえることができ、各クラスの実態の共通理解にもつながった。また、幼児の育ちの読み取りを深めることができた。
 - ・日々の保育内容や幼児の様子、育ち等を降園連絡や学級懇談会の機会を活用して保護者に知らせるとともに、月3回以上、ホームページで写真をつけて発信した。ホームページを活用することで地域や未就園児など幼稚園教育の内容や幼児の育ちを幅広く発信することができた。

- ②・指標に基づき、子どもの実態に合わせて、毎月1回、実態に応じて保健指導を実施した。

	うめ組（3歳児）	さくら組（4歳児）	きく組（5歳児）
4月	手洗い	手洗い・朝の用意	生活リズム（朝の用意）
5月	トイレの使い方	排泄 健康診断について	手洗い 健康診断について
6月	手洗い・うがい 歯みがき	手洗い・うがい 歯みがき	プライベートペーツ 歯みがき
7月	夏の健康	夏の健康・熱中症	生活リズム・熱中症
9月	早寝・早起き・朝ごはん	早寝・早起き・朝ごはん	早寝・早起き・朝ごはん けがをした時
10月	目を大切に	目を大切に	目の役割

- ・手洗いは、その必要性を知らせた後、洗い方の図を見たり、音楽を聴いたりしながら手洗いをしたことで、歌いながら楽しんで洗う姿が見られた。手洗いやうがいの表示を新しくした。
- ・排泄の指導では、パネルシアターを見ながら、トイレの正しい使い方を知らせた。4歳児には、実際に和式トイレの模型にしゃがんでみるなどして、和式トイレも使うよう促した。5歳児には、プライベートペーツの話をした際、人のトイレを覗いたりしないことを伝えた。その結果、着替えやトイレを興味本位で覗いたりする姿は見られなくなった。
- ・歯みがきは、3歳児は椅子に座ってワニの模型を見ながらみがいた。落ち着いてみがくことができ、徐々にみがく力もついてきた。4歳児は最初は模型を見ながらみがいたが、次第に図を見ながらみがいたり、音楽を聴きながら丁寧にみがく姿も見られた。5歳児は砂時計を見ながらみがき、食後の歯みがきカレンダーを励みにみがいている様子もあった。

- ・6月には、歯みがき・仕上げみがきカレンダーを家庭で取り組み、家庭での歯みがきの様子を知ることができた。また弁当参観時に4・5歳児は歯垢染め出しを実施し、保護者とみがき残しの箇所を確認することができた。
- ・暑い時期になると、熱中症や暑さ指数について知らせ、自分で気を付けて体を守ることの大切さについて考えるようにした。
- ・歯みがきカレンダーや、約束表を家庭で取り組んでもらい、コメントを添えて返した。弁当参観時に食生活について話をしたり、学期末の保護者会で生活習慣について話をする時間をもつなど家庭と連携する機会がもつことができた。
- ・夏休みは健康カレンダーを実施し、約束を各家庭で選んで取り組んだことから、生活習慣に対する関心の高さを伺うことができた。また野菜カードや朝ごはん調べの結果をもとに食育に関する掲示物を作成するなどして、今後の取組に生かしていきたい。

③

- ・1学期は、クラスごとにかけっこやリレーを楽しむと、ゴールに向かって走ったり、友達と一緒に走ることを喜んだり、友達を応援したりする姿があった。また、子どもの遊ぶ姿に合わせて、園庭や遊戯室、保育室内に巧技台やエス棒、平均台、フープ、梯子、滑り台等の運動遊具を準備すると、いろいろな体の動き（跳ぶ・登る・バランスを取る・滑る等）を経験できるようにした。
- ・2学期の運動会ごっこでは、全体で共通の体操「ラララ体操」をして、みんなで体を動かす楽しさを味わった。保護者とも、ふれあい遊びで「それもいいね」の体操をすると、保護者と一緒に体を動かすことを楽しむ姿があった。また、各学年で楽しく体を動かせる遊びを行った。

3歳児は、ペンギンになりきって、波を飛び越えたり、魚を捕まえるためにジャンプをしたり、氷の山（巧技台）を登るなど、様々な動きを繰り返し楽しむ姿が見られた。かけっこでは、年長児まで走っていくことに喜びを感じながら、走ることを楽しんでいた。

4歳児は、チョウになりきり、飛ぶ、花に止まる、クモの巣をくぐる、橋を渡るなどを友達と一緒に経験しながら、自分の体の使い方が分かつたり、少し難しい動きに挑戦したりする姿があった。かけっこでは、ゴールまで走ることを目標にして、「速く走りたい」など自分なりの思いをもって走っていた。

5歳児は、竹馬、一輪車、フープ、縄跳び、跳び箱、鉄棒など、体を動かす遊びを楽しめる環境を整えたことで、進んで体を動かす姿が見られた。毎日取り組む中で、友達と刺激を受け合いながら少しづつできるようになる喜びを感じ、根気よさやあきらめない気持ちが育まれていった。リレーでは、勝敗があることに喜びや悔しさ、葛藤する気持ちを味わいながらも、どうすれば速く走れるか、上手くバトンを渡せるのかなど子ども同士で考え、競う楽しさや勝敗のある遊びの面白さに徐々に気付いていた。運動会後も遊びは継続し、異年齢で5歳児がしていたバルーンをして遊ぶなど一緒に遊びを楽しんだことで、憧れていた遊びができる喜びを感じながら、運動会の余韻を楽しむことができた。

- ・年間を通して集会を行い、各クラスや学年全体で音楽に合わせて体を動かして体操やふれあい遊びを楽しんだ。（4月：サンサン体操 5月：こいっぽり体操・だんごむし体操・こちよこちよ電車 6月：エビカニクス・ぎゅうぎゅうともだち 7月：ペンギンのプールたいそう・おふろやさんにいこう 8・9月：ぱんぱんぱん・ぴったんこ・ラララ体操 10月：ららら体操・それもいいね・ぺんぎんたいそう・むしむしフェスティバル・ジャングルぐるぐる・昆虫太極拳）

次学期への改善点

- ①・各学年の遊びの様子やその中の育ち、各行事での姿や育ちなど、担任や係の教員がホームページを更新するようにし、さらに保護者や地域に幼稚園教育の周知を行っていく。
- ②・視聴覚教材を工夫したり、個別に言葉かけをしたりしていく。
・保護者啓発の仕方を考える。
- ③・やってみたい思いがふくらむ環境構成や教材などを準備していき、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるように遊びを取り入れていく。
・保護者にも、ふれあい遊びや体操など園で楽しんでいる遊びを知らせることで、家庭でも一緒に楽しんだり、保護者とふれあう機会をもつたりできるようにする。

大阪市立日東幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>①今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、異年齢の友達や地域の人との関わりを通して、思いやりのある心を育むことができるよう取り組んでいますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。</p> <p>②今年度の本園の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、近隣の小中学校との交流活動を積極的に実施していますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合を65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <p>近隣の小中学校の児童・生徒や教師、地域の人に関心をもち、親しみの気持ちや思いやりの心を育む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小中学校との交流活動を学期に1回以上実施する。 ・近隣の小中学校と円滑な接続ができるよう、互いの教育内容や子どもの育ち・学びについて学ぶ機会を月1回以上もつ。 ・地域の人との交流を計画的に実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>研修会や講演会、他園参観等へ参加、園内研究会などを活用し、自己の資質向上をはかる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や講演会、他校園参観への参加し、学びを共有する（資料の配付・回覧等）（年10回） ・園内研究会を実施し自己を振り返り、学びを生かした保育の向上につなげる。（年3回） 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標について】</p> <p>① 今年度の本園の1学期の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、異年齢の友達や地域の人との関わりを通して、思いやりのある心を育むことができるよう取り組んでいますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は51%であった。</p> <p>今年度の本園の1学期の保護者アンケート調査で、「幼稚園は、近隣の小中学校との交流活動を積極的に実施していますか」の項目について「大変そう思う」と回答する保護者の割合は60%であった。</p> <p>【取組内容について】</p> <p>①・保育内容や子どもの実態に合わせて、異年齢交流の内容を見直しながら、進めることができた。</p> <p>週1回週案の打ち合わせを行い、園全体で共通の教材を使用したり、異年齢の交流の時間を設けたりした。</p> <p>・未就園児活動を1学期は5回実施し、園児との交流を行うことができた。未就園児に声をかけ、遊びに誘い、優しい気持ちで関わらうとする姿が見られた。</p> <p>・地域食事サービスへ行き、1学期は、5月、7月に5歳児が行き、地域の方々と交流を深めた。</p> <p>・6月に、広田保育所と愛染橋保育園と交流を行い、ふれあい遊びを行うことで、同じ地域に育つ</p>

仲間として意識することにつながった。

- ・近隣の小中学校との交流活動を、子どもの実態を考慮し、それぞれのねらいを立てて実施した。
1学期は下記の通り、行うことができた。

5月	心和中学校 校庭遊び (4・5歳児)	心和中学校の生徒、職員方が温かく子どもたちを迎えてくれ、一緒に体操をした。幼稚園からいろいろな遊具をもって行き、中学生と一緒に遊ぶことを楽しんだ。最後は、きく組が心和中学校の生徒、職員方と一緒にリレーをし、身近な大人や中学生に親しみをもつことができた。
5月	日本橋中学校運動会 (5歳児)	中学生が全力で走る姿を見て、声援や拍手を送った。 子どもたちが「かっこよかったです！」「走るのはやかったです！」と中学生に伝え手を振ると、「ありがとう」「また遊ぼうね」と駆け寄ってくれた。そういったことで、親しみをもつことができた。 後日、振り返りをし、「中学生の走り方でやってみたい」と園でリレーを楽しんだり、中学生に向けてお礼の手紙をかいたりした。
5月	心和中学校 校庭遊び (5歳児)	広い校庭で、縄引きをしたり、鬼ごっこやかけっこ、リレーをしたりし、たくさん体を動かして遊んだ。 アゲハチョウの幼虫と卵をいただき、幼稚園で育てた。 後日、振り返りをし、中学生に向けてお礼の手紙をかき、中学校に持って行った。中学生も手紙を用意してくださっており、お互いに感謝の気持ちを伝いあい、交流の機会となった。
6月	心和中学校 職場体験	中学生が、子どもたちと同じ目線になってたくさん関わってくれた。 帰る時間になると、親しみをもった中学生に、「まだ遊びたかった」「また来てね」と伝える姿があった。
6月	日本橋小中一貫校 なみはやまつり	前日に、浪速小学校の5年生がかいてくれた「なみはやまつりの招待状」を受け取った。招待状には、子どもたち一人一人の名前とメッセージがかかれており、自分に招待状が届いたことを嬉しく思ったり、まつりへの期待をもつたりすることができた。 当日は、中学生が子どもたち一人一人と手をつないで、「次はどこに行きたい？」と、優しく声をかけながらまわってくれ、子どもたちも安心してまつりを楽しむ様子が見られた。小学生は、店番をしながら、「もう1回する？」「おまけしてあげる」などと園児の目線で話してくれたり、ルールを優しくしてくれたり優しい言葉がけをしてくれたことで、おまつりを存分に楽しむことができた。子どもたちは、気持ちに寄り添ってくれる中学生に親しみをもち、安心して関わる姿があった。また、帰り際には、中学生が折り紙の動物のお土産も準備してくださり、園外保育で行く動物園への期待をもつことができた。一緒に、動物園の絵がかかった模造紙も準備してくださり、子どもたちは園でも、いただいた動物を模造紙に貼ることを楽しんだ。事後の保育につながるようにと中学校の先生方も幼稚園教育を理解してくれた。 後日、振り返りをすると、「ずっとお兄ちゃんが手をつないでくれていた」「このお店が楽しかった」など、思いを伝える姿があり、その思いを手紙にかいて小中一貫校へ届けた。
7月	日本橋小中一貫校 手形押し	日本橋小中一貫校の生徒がデザインした横断幕の色付けをしに行つた。浪速区制100周年で、浪速区のシンボルがかかれた横断幕に手形をおし、幼稚園、小学校、中学校が協力して制作を行った。
7月	絵本の読み聞かせ (日本橋小中一貫)	1学期終業式の保護者会で、保護者に向けて「子どもとの関わりの中に、あたたかさとゆとりが生まれるように」との思いで、日本橋小中

	校校長)	一貫校の校長先生に、絵本の朗読をしていただいた。主人公の子どもの思いに、涙を流す保護者もいた。その後、保護者の方と園児の触れ合い遊びでは、保護者の方と子どもたちの笑顔が溢れ、穏やかな表情で、我が子を愛おしく感じながら、わが子に関わる様子が見られた。
9月	浪速小学校 作品展	小学生の作品が並ぶ作品展に招待していただき、全園児で日本橋小中一貫校へ向かった。子どもたちは、一つ一つの作品をじっくりとみて、思ったことを伝え合う姿が見られた。
10月	運動会予行 運動会 (心和中学校)	運動会の予行に、校長先生と生徒の皆さんのが来てくれ、子どもたちに優しく声をかけてくれたり、遊具の出し入れをしてくれたりした。中学生に「感動した」と言葉をかけてもらい、子どもたちの自信に繋がった。運動会当日も、予行に来てもらった生徒の皆さんのが来てくれ、子どもたちと関わってくれた。親しみをもっているお兄さん、お姉さんが関わってくれることで、当日も安心して運動会を楽しむ姿が見られた。
10月	日本橋小中一貫校 文化祭 (5歳児)	中学生が大きな舞台で堂々と立って歌う姿を見たり、歌声を聞いたりした。子どもたちは、自身の音楽会を控えていることもあり、憧れの気持ちや意欲が芽生えたようだった。
10月	園外保育 (心和中学校)	一緒に園外保育にでかけた。運動会で中学生と関わったことで、より親しみの気持ちをもつことができ、楽しい時間を共有することができた。
<p>・近隣の小中学校と円滑な接続ができるよう、互いの教育内容や子どもの育ち、学びについて学ぶ機会をもった。</p>		
8月	日本橋小中一貫校 2年目研修	それぞれ幼稚園、小学校の取り組みを知ったり、実践記録の検討をしたりし、お互いの教育について理解を深めた。今までの交流を振り返りながら意見交換をしたり、子どもの育ちについても語り合ったりし、学びに繋がった。
5月 9月	日本橋小中一貫校 授業参観	小学校教育を実際に観ることで、幼稚園教育が、その後の小学校教育に繋がっているかということを学ぶ機会となった。またそうしたことでも、自身が行っている幼稚園教育への自信に繋がった。

②

- 年間を通して、毎月様々な研修会や講演会へ本園担当の教職員が参加した(年間 回以上)。また、近隣の学校園と合同で研修に参加したこと(年間 回以上)で、意見交換や職員同士の交流を図ることができた。小学校以降の学び等を知り、幼児教育へどのように繋がっていくのかや幼児期に育みたいことなど、学びを深めることができた。

7月	日本橋小中一貫校	「非認知能力と認知能力を共に伸ばすために」
10月	日本橋小中一貫校	「数学的な見方・考え方を働かせる加法と減法の学習指導」

研修会等で学んだ情報は、他の職員へ資料を回覧したり、職員会議や朝礼時に報告したりして共有した。

・毎月行われているブロック研究会や保健部研究部会では、研修会や講演会に参加し、研究の主題に沿って話し合ったり、自園について振り返ったりしている。また、他園の取り組みを知り、自園の保育実践に生かすなど資質向上へと繋がっている。

- 10月に他園の運動会を見に行かせてもらい、保育内容や環境構成などを学んだり、自園の取り組みを客観的に捉えたりする機会となった。

- 教育センターから教育指導員を招き、

6月：OJT事業として2年目教員の指導を行った。自身の保育を振り返り、今後の課題などを明確にすることことができた。

7月：実践記録の検討を行った。遊びを楽しむ幼児の姿から、幼児や遊びを通して育まれていることへの理解を深めることができた。

10月：園内研究会を行った。運動会後の幼児の姿から、ブロック研究部会「遊びの中の育ちと小

学校教育とのつながりを考える～幼児が夢中になって遊ぶ姿から～」の主題に沿って、幼児の姿や教育的意図をもった働きかけや環境構成などを振り返ることができた。

次学期の改善点

- ① 取り組みの内容や子どもの育ちを多くの保護者に知っていただくため、ホームページを更新する。ホームページの更新を保護者に向けて口頭でも伝える。
- ② 今後も研修会等へ積極的に参加し、学びから自身や園全体の資質の向上に繋げていく。園内研究会の実施し、日々の保育を振り返り、保育実践へと生かしていく。